



ソル倶楽部編／ソル・ギター作品全集

WoO 3度と6度の課題曲（ギター教則本より）

Exercices pour les Tierces et les Sixtes [from Methode]

1830年にパリでソルが出版したフランス語版を底本とした。また翌1831年にジムロックから出版された仏語独語版、1832年にロンドンで出版されたS.Merrickによる英訳版、そして1851年頃に出版されたコストによるフランス語改訂版、そして1896年に出版されたFrank Mott Harrisonによる英語圧縮版も参考にした。

1830年のフランス語初版のファクシミリがスイスのミンコフ出版社より1981年に出版されている。私はこれを底本に使用したので上の段落のように書いたが、ミンコフのファクシミリに問題があり、文字通り底本にはできなかった。

オリジナルの初版本は当時の印刷技術の制約からか、文章部分と譜例・楽譜部分が分冊となっている。ミンコフ版の問題とは文章部分は確かに1831年版なのだが楽譜部分は1832年のジムロック版のものが使用されているのである。フランス国立図書館が所有する初版本が楽譜部分を欠落しているのが、その対処と考えられるが、問題はそれがどこにも明記されていないことである。そしてさらにミンコフ版最大の問題点は、きれいなファクシミリを作ろうと考えてのことだと想像できるが、汚れを戸と州だけではなく、楽譜そのものに手を加えていることである。

ということで、今回の底本は1831年のジムロック版であり、そしてコスト改訂版を中心に参照した。

さて、ソルは教則本を書くにあたり、読者がソルの説明に集中できるように、当時の教則本とし異例なことであるが、練習曲をカットして文章中心にまとめた。しかし、練習曲がまったく含まれて以内かというそうではなく、今回の3度と6度の練習曲が各6曲、そして3度、6度の両方のための練習曲が1曲入っている。多様な和音の押弦を実現しているソルの左手運指法は当時としては画期的なものだった。そしてその基礎は、指板上で3度、3度音程の運指に慣れ親しむことである説明されている。これらの3度、6度の練習曲はソルとしては省略できなかったのである。

さて、これまで私は「練習曲」と書いてきたが、「練習曲 Etude」「レッスン Leçon」「課題曲 Exercise」と練習曲を分類している、ソルの用語にしたがうと今回の13曲は「課題曲」である。3度、6度に習熟するための課題である。

コストが改訂したソル教本は、簡単にいうとソルの文章をカットし、ソルの譜例で残すべきものは残したカットし、それにコスト自作の練習曲を大量に加えたものである。また最終章ではコストが提唱する7弦ギター（Heptacorde）の効用について語られている。教則本としては実用的だが、ソルのオリジナルな主張はくみ取ることができない。ちなみにコストは3度、6度の課題曲全12曲は収録しているが、最後の《3度と6度の課題曲》は自作曲で置き換えている。

菅原 潤

※ 2009年10月26日公開

Exercises

pour les Tierces et Sixtes (Methode)

Fernando Sor

Edited by Jun Sugawara

Exercises pour les Tierces

Moderato

No.1

4

7

10

12

14

© Copyright 2009 by HOMA dream Inc. Tokyo
International Copyright Secured.
All Rights Reserved. Printed in Japan.



No.2

3

6

9

12

15

No.3

4

7

11

14



No.6

85

88

91

94

97

Exercices pour les Sixtes

No.1

The exercise consists of seven staves of music in C major, 2/4 time. The first staff is labeled 'No.1'. The music is written in a single melodic line with a treble clef. Fingerings are indicated by numbers 1-4 below the notes. The piece concludes with a double bar line at the end of the seventh staff.

4

7

10

13

16

19

No.3

1 2 3 4 5 6 7 8

3

1 2 3 4 5 6 7 8

5

1 2 3 4 5 6 7 8

7

1 2 3 4 5 6 7 8

9

1 2 3 4 5 6 7 8

11

1 2 3 4 5 6 7 8



13

15

No.4

4

7

10

No.5

1 3 4 0 1 3 4 0 1 3 4 0

16

19

4 3 4 0 3 0 3 0 3 0 1 2 0 1 7 7

22

4 3 1 3 1 4 3 0 2 0 2 0 3 0 3 0 3 0 3 0

25

1 2 4 3 4 3 1 2 4 3 4 3 4 3 4 3

28

1 2 0 2 0 2 0 3 0 3 0 3 0

31



34

No.6

4

8

11

14

Exercice pour les Tierces et les Sixtes

First system of musical notation, starting with a treble clef, a common time signature, and a repeat sign. The melody consists of eighth notes and quarter notes, with a triplet of eighth notes at the end.

Second system of musical notation, starting with a treble clef and a common time signature. It includes a 4-measure rest at the beginning and continues with eighth and quarter notes.

Third system of musical notation, starting with a treble clef and a common time signature. It ends with a double bar line and the word "Fin." below it.

Fourth system of musical notation, starting with a treble clef and a common time signature. It features a sequence of chords and eighth notes, ending with a triplet of eighth notes.

Fifth system of musical notation, starting with a treble clef and a common time signature. It includes various rests and complex rhythmic patterns, ending with the instruction "D.S." below it.



Mineur

17

20

23

25

28

31